

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	歴史館施設管理事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	文化振興課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化財係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		21 歴史・文化財		1 小牧の歴史・文化財をPRする				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	7	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	歴史館の設置及び管理等に関する条例・文化振興ビジョン									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内訳(割合)	直接実施・運営	15 %		委託	85 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	小牧のシンボル小牧山にある歴史館を多くの方に利用してもらうことで、歴史遺産の再確認、小牧のPRにつなげる。									
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <p>管理、運営は指定管理。 企画展の開催や館内ガイドの配置、夜間開館の実施等利用者の利便性向上に努めた。 また、さくらまつり、お月見まつり、市民まつりなど他の課が行う事業にも協力し、利用拡大を図りました。</p> <p>開館時間 午前9時～午後4時30分 休館日 毎週木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 大人100円 小人30円(団体大人60円、小人20円) 企画展示「史跡小牧山主郭地区発掘調査速報展」 期間 6月10日～6月22日(12日間) 企画展示「～決戦 羽柴秀吉～ 徳川家康と五つの砦」 期間 10月21日～12月14日(48日間)</p> <p>職員は管理者との調整、入館料の減免、企画展示、開館時間の延長等の諸手続きや、広報活動をおこなう。</p>									
受益者負担	入館料 大人 100円 (団体 60円) 小人 30円(団体 20円) 受益者負担総額 3,342千円										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	18,479	20,091	24,018	22,011	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	265	265	265	265
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	18,744	20,356	24,283	22,276
	対前年比		%		108.6	119.2	91.7	
財源	一般財源		千円	14,822	15,899	20,259	18,349	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	3,922	4,457	4,024	3,927	

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	企画展	日	目標		6	24	11
実績				24	30	60	
夜間開館	日	目標		24	24	16	24
		実績		22	21	15	
ガイドボランティア	日	目標			8	8	8
		実績			16	29	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	入場者	人	目標		35,000	35,000	35,000
実績				49,765	53,193	50,069	
企画展・夜間開館入場者	人	目標		—	—	—	—
		実績		8,751	8,555	10,561	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	H19のリニューアル、夜間開館、他行事、歴史ガイド団体との連携により、多くの方に入館していただき、多くの方に小牧の歴史を紹介することができた。
		事業実施における課題等	小牧山の山頂という立地条件から、高齢者や体力面に不安を抱える方からは距離感のある施設となっている。
		事業を縮小・廃止したときの影響	市内唯一の歴史資料館であるため、伝えていくべき小牧の歴史、文化財を学び親しむ機会を失う。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	市内唯一の歴史資料館を維持することで、文化財を学び親しむ機会を確保する必要がある。	
	改善案等	文化財の利活用のため、積極的に情報を発信するための中心的な役割を果たす機能となるため、身近な場所で情報発信できる有効な活用方法を研究していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。平成25年の小牧山城築城450周年に合わせて、全日開館を開始すること。